



# 山口としや 通信 第29号

## 花一杯の街になるように

6月2日、「花の会・つるぎ」主催の国道花壇の一斉定植作業に参加しました。国道花壇はクレイン近くの国道157号線沿いにあります。毎年きれいな花が咲いているのをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

毎年参加させてもらっていますが、私は植えるだけです。「花の会・つるぎ」のメンバーは水やりや除草作業を毎日行っています。そして、この活動を31年行っていると聞いて頭が下がります。こうした市民ボランティア活動を行政がしっかりサポートする必要性を感じます。



腰が痛くなりますが、笑顔で作業です。

## 2019年6月議会報告

### 災害の減災

(質問) 災害の減災のポイントは、はやく情報を知り、行動すること。気象庁がホームページに発表している「危険度分布」が役に立つ。土砂災害や浸水害の予想を視覚的にあらわしてあり、リアルタイムで危険度がわかる。「危険度分布」の存在の周知を。

→(市長) 気象庁は、2017年から、「危険度分布」をメッシュ状で表現し、ホームページに公開している。分布図は、5段階に色分けされ、危険区域が把握でき、数時間後の予測も表示されることから、避難行動に大きく役立っている。

また、5月より、防災情報が5段階の警戒レベルで提供されるようになった。このことを6月中に全世帯にチラシ配布することで、周知する。その際、「危険度分布」情報に簡単にアクセスできるホームページアドレスを明記し、市民に周知していく。

### 情報が大事

(質問) QRコードをつけるべきでは。

→(総務部長) QRコードで表示したい。

(質問) メール配信希望者に、メールでアドレスを知らせては。

→(市長) 市が、市民個人に情報発信している白山市メールに気象庁のホームページアドレスを表示することは、いざという時の避難行動に役立つので、早々に実施したい。

(質問) 避難指示等をだす場合、「危険度分布」どのように利用しているのか。

→(市長) 本市では、国や県のあらゆる機関の情報を収集し、現地の状況も踏まえて、避難情報を発令している。その際、「危険度分布」は重要な役割を果たしている。

今後とも、人的被害が出ないように、より迅速で正確な気象情報の提供、避難情報の発令に努めたい。



元気象庁にお勤めの方から、「危険度分布」の話伺いました。気象庁はこの「危険度分布」に自信を持っており、お勧めしていました。大雨が続いたときには、ぜひ、アクセスして下さい。

# 自然・文化の魅力発信を

(質問) 観光事業者から、英語対応だけでなく、多言語に対応する必要があると聞いた。ハード面の多言語化が必要では。

→ (市長) 本市では英語標記のみである。多数の外国人観光客の来訪が見込まれる施設については、多言語表記を前向きに進めたい。QRコードを使って景観にも配慮した手法をとりたい。



豊かな自然を観光に活かそう

(質問) 通訳がいるともっと観光客を誘致できると聞いた。必要な施設に通訳を派遣する制度が作れないか。

→ (市長) 市観光連盟事務所に携帯翻訳ツール「ポケット」を設置し、対応している。台数を増やしたい。また、多言語に対応した指さしシートを導入していく。登録ガイドの中に、英語通訳可能なガイドが4名おり、協力を頂きながら対応したい。

多言語の対応については、市国際交流協会の翻訳サポーター登録制度があり、5言語で53人の方が登録されている。この制

度を広く周知したい。

(質問) ポケットは貸し出しできないか。  
→ (観光文化スポーツ部長) 今後増やしていくが、貸し出しは考えていない。各宿泊施設や観光事業者の皆さんには、「ポケット」や「携帯アプリ」、「通訳の派遣」などをお知らせしていきたい。

(質問) 今までは「見る・食べる・遊ぶ」モノ消費の観光だったが、今は「体験する・交流する・学ぶ」コト消費の観光が人気。書やお茶などの文化体験プログラムやノルディックウォークなどの自然体験プログラムを商品化し、発信し、外国人誘客に努めては。

→ (市長) 市観光連盟では、白山比咩神社のみそぎ体験のプログラムなど、インバウンドに対応する着地型旅行商品の開発と販売を行っている。

自然体験プログラムについては、ノルディックウォークなどの既存旅行商品を外国人旅行者に向けて発信したい。

(質問) キャンピングカーの普及促進のために活動している日本RV協会が、快適な車中泊ができる施設としてRVパーク認定を行っている。道の駅の駐車場で認定を受けては。

→ (産業部長) 国と市の一体型整備施設の「めぐみ白山」と「しらやまさん」については、今後国と相談しながら調査研究する。「瀬女」と「一向一揆の里」は施設利用者の意見や指定管理者の意見を聞きながら、費用対効果や管理運用方針などを調査研究していきたい。

ポケット・多言語対応の翻訳の機器



金沢には多くの外国人観光客が訪れています。一番受けているのが折り紙体験です。ちょっとした工夫と発信力でまだまだ観光客誘致は可能です。

# 将来都市像の議論を

(質問) 立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の進捗状況と整合性は。

→ (建設部長) 立地適正化計画はマスタープランの改定作業とあわせて検討してい



る。策定は来年3月の予定。地域公共交通網形成計画は8月策定予定。両計画は、相関がある。地域公共交通網形成計画が先行しており、立地適正化計画の検討の際、整合が図られるようにする。

(質問) 居住誘導区域の設定が先で、交通網形成計画が後になるべきでは。

→(企画振興部長) 立地適正化計画の中で交通網が足りないところがあれば、見直して対応していく。

(質問) 立地適正化計画は市街化区域が対象となっている。市街化区域の設定がない、白山ろく地域では、都市計画マスタープランの中に、「都市機能誘導区域」や「誘導施設」、「居住誘導区域」の設定を。

→(建設部長) 白山ろく地域で安心して住み続けられる地域を守るため、地域住民の活動、交流拠点の強化や生活サービスの機能の集約・確保など「小さな拠点」の形成は重要。都市計画マスタープランにおいて、白山ろく地域における拠点の考え方について整理し、盛り込む。

(質問) 広い市域を公共交通でカバーするのは難しい。居住誘導区域は公共交通でつなぐ、その他の地域は民間の力を借りて補うべきでは。

→(企画振興部長) 居住誘導区域は現在検討中だが、地域の特性やニーズに合った持続可能な公共交通網の構築に努めていく。

居住誘導区域以外においては、既存の交通事業者の活用により交通空白地が生じないように取り組む。その上で、既存の交通事業者による輸送サービスの提供が困難な場合には、市やNPO法人が行う自家用有償旅客運送等のサービスの検討すべきとの見解が国土交通省より示されている。

(質問) 民間支援の制度の新設を。

→(企画振興部長) ライドシェアの特例拡大等の規制緩和策が示されているが、導入には国の制度設計を見極める必要がある。市民協働のまちづくりの一環としてボランティア輸送が考えられるが、法的な制約もあり、地元から提案があった場合には、相談しながら検討していく。

**としゃチェック** 都市計画マスタープランと立地適正化計画で今後10年の都市像がつけられます。住みよさランキンで日本一になりましたが、これからも市民が「住んでよかった」と思える市になるよう提案していきます。

## 公民館予算の拡充を

(質問) 公民館の市委託料の決定方法が地域によって違うのはおかしい。統一を。

→(教育長) 合併時の協議により、鶴来地域の



林公民館の多目的ホールの落成式典の様子。

5地区においては同一の金額としてきた。当時と比べて人口の増減も大きくなっているため、他の地域と同様に人口増減を加味した委託料になるよう、公民館長と協議しながら調整していく。

(質問) 多目的ホールや軽体育館を整備し

てきたが、土日に個人使用できない。土日に管理人の配置ができる予算措置を。

→(教育長) 今のところ、全ての公民館に管理人を配置するのは財政的に厳しい。現状どおりでお願いしたい。

(質問) 現場の声を聞いてみては。

→(教育長) 対話は非常に大事。また、現地現場も大事と思っている。一回聞いてみたい。

(質問) 新たな地域コミュニティー組織が具体化する際は、市の職員の配置を。

→(企画振興部長) 地域コミュニティー組織の事務局業務が想定されるので、人的支援や公民館職員の処遇、事務室設置場所について今後協議していく。

**としゃチェック** 地域の中心は公民館ではないでしょうか。協働のまちづくりの地域コミュニティーの中心にもなります。マンパワーが大事になります。地域のやる気が引き出せる、行政であってほしいと思います。

# 人権感覚が生きる学校現場に

(質問) 3月に新聞報道があった市内小学校のアルバムで、障がいのある子が集合写真から削除された事件について、なぜ起こったのか。

→(教育長) 保護者の意向もあり、第三者による聞き取りを行い報告を求めているところ。大きな要因は、学校におけるチェック体制の不備。二重三重のチェック体制と最終的な管理体制が欠如していた。

(質問) 人権感覚が欠如していたら、何回チェックしても、漏れがでる。それまで当該小学校の中でその子に接してきた校長先生や教員がどういう意識で接していたか。その意識があらわれたのでは。

→(教育長) 議員の指摘は当たっていると思う。人間はどこかに意識が現れる。これからは、それぞれみんなに同じように寄り添うべき。

(質問) 大切なのは再発防止。万全の再発防止策を。

→(教育長) 学校長をはじめ、教職員は真摯に受け止め、猛省をしている。再発防止に向け、チェック体制、二重三重の確認に取り組んでいくと聞いている。

教委としても、校長会議等を通じ、人権に十分配慮すると共に、再発防止に向けて、学校全体による組織でのチェック体制を指導していきたい。さらに、人権意識を高める指導をしていきたい。

(質問) 白山市の福祉は素晴らしいと言われる中、起こった事件、大変ショックだった。人権感覚を磨く研修は重要では。

→(教育長) 人権教育は、子どもたちにも必要ですし、その子どもたちを教える先生にも大事。今後ともそういった研修には力を入れたい。

(質問) 学校事務の共同実施を試行したが、その意義とねらいは。

→(教育長) 近隣校の事務職員との連携を強化し、可能な業務の分担などを行い、より適正かつ円滑な事務を執行するのが意義であり、ねらい。

(質問) 教員の多忙化解消につながるのか。

→(教育長) 試行の段階だが、事務職員で内容を精査する中で、有効に機能していく。事務職員の多忙化解消につながる。また、事務職員の教材教具等の購入などがスムーズになれば、教員の多忙化解消につながる。

(質問) 校務支援システム導入の動きがあるが、授業記録や成績などの教育分野と教員のサービス管理分野が一体となったシステムの導入を。

→(教育長) 現在試験的に導入している校務支援システムは、教育の分野のもの。議員ご指摘の教員のサービス管理分野を加えることは、業務の効率化が図られる。教育分野と教員のサービス管理分野の一体化について、統合型校務支援システム検討委員会の中で協議していく。

(質問) 夏休の学校閉庁を行うのか。

→(教育長) 8月11日から17日を学庁日とするよう校長会議で伝えてある。

(質問) 閉庁期間の動植物の管理やプール管理を業者委託に。

→(教育長) 管理職で行い、学校に来ることのないよう校長に指示した。業者委託は考えていない。管理職で行うよう、話ししていく。

(質問) 学校閉庁日に年休や特休を当てるのはおかしい。勤務を要しない日にするよう県に要望すべきでは。

→(教育長) 県の指示に従うことになるが、県教委にはお伝えはする。



## としゃチェック

人権感覚を磨くには当事者の話を聞くことが一番です。「障がいのある子の保護者と語る会」に教員時代に参加し、教員人生だけでなく、現在の議員としての私の感覚の基礎になっています。

※市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

TEL : 275-0179

e-mail : toshiya@y-toshiya.com

ホームページ : <http://y-toshiya.com/>

FAX : 275-0924